

2月26日（土）里山の身近な生き物を探そう！

日 程

ウォーキングセンター → 本宮山 → いかまい館 → ウォーキングセンター

当日の様子



集合場所のウォーキングセンターには、小中学生が11名、一般が12名と、幅広い年代の参加者が集まりました。準備体操をしてから散策を開始しました。



登山口からまもなく、一昨年の台風18号で倒れたツブラジイの木があります。倒木は、木の根がどのように生えているか観察するよい機会になります。



口の先が赤いため「クチベニタケ」と言われているキノコの仲間です。とても小さく、いつもなら見過ごしてしまう生き物も、今日の観察会では多く知ることができました。



山の中腹以降は、岩場や階段など険しい道が続きますが、観察や休憩を挟み、3時間ほどで頂上へ到着しました。



バスで下山し、昼食後は観察のまとめと、聞こえた鳥の鳴き声から鳥の種類を確認しました。シジュウカラやコゲラなど、ケラ類の鳥が多くいました。

当日は、記録できたもので25種類以上の生き物を観察することができました。豊川には、本宮山のような自然豊かな里山が数多く残っています。参加者は、日頃と違った里山の楽しみかたを体験し、自然の大切さについて実感してくれたのではないのでしょうか。

本日確認ができた主な生き物

ツブラジイ、アベマキ、ツルアリドウシ、胡椒の木、ミヤマキシミ、ネジキ、スズメガの幼虫、ミヤマウズラ、ヒメカンアオイ、クチベニタケ 等